

表9 EULARの倦怠感の推奨

2023 EULAR recommendations for the management of fatigue in people with inflammatory rheumatic and musculoskeletal disease

包括原則

1. 倦怠感は多角的に相互に作用する生物的、心理的、社会的な因子を包含することを医療従事者は知るべきである
2. 炎症性リウマチ疾患の人々では、倦怠感モニターされ、臨床ケアの一環としてマネジメントの選択肢を提示されるべきである
3. 倦怠感のマネジメントは炎症性リウマチ疾患を持つ人と医療従事者、well-beingの専門家の間での共同意思決定であるべきである
4. 倦怠感のマネジメントは炎症性リウマチ疾患を持つ人々の必要性和好みとともに、臨床的疾患活動性、合併症、そしてその他の個人の心理的あるいは文脈上の因子に基づくべきである

推奨	LoE	GoR
1. 医療従事者は倦怠感の重篤度、影響度、対処方法を定期的に評価を組み入れるべきである	5	D
2. 臨床ケアの一部として、炎症性リウマチ疾患があり倦怠感のある人々は、個に合わせた身体活動への介入へのアクセスを提示されるべきであり、長期に渡る身体活動に取り組むことを奨励されるべきである	1a	A
3. 臨床ケアの一部として、炎症性リウマチ疾患があり倦怠感のある人々は、構造化された個に合わせた心理教育介入へのアクセスを提示されるべきである	1a	A
4. 倦怠感の存在あるいは悪化は炎症性疾患の活動性の評価のきっかけとなるべきであり、臨床的に適応があれば免疫調節治療を考慮すべきである	1a	A